

再 評 価 調 書

		調書作成年月日		平成21年 6月 1日																																																	
		事業担当課		防災砂防課																																																	
事業名	みなみのじりさわ 南野尻沢2通常砂防事業	補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県																																																
施行地名	せんだいしたいはくくあきうまらばば 仙台市太白区秋保町馬場地内	【位置図後掲】		管理主体	宮城県																																																
根拠法令	砂防法13条																																																				
事業の概要	事業目的	<p>当地域は、集落背後が急峻な山地となっており、4つの土石流危険渓流がある。渓流の中・上流部の地形は大半が近年行われた伐採跡地の様相を呈しており、渓流には不安定な土砂が堆積している。平成11年8月には、豪雨により渓床が洗掘され土石流が発生し、水田10aに土砂が流出するとともに、側溝が閉塞し集落内の民家に床上浸水等の被害が発生した。このため、地域生活へ多大な影響を与える土石流災害を未然に防ぐため、砂防堰堤築造工事を実施するものである。</p>																																																			
	事業内容	<table border="1"> <tr> <td>事業着手時 (平成12年度)</td> <td>砂防えん堤 N=1基 渓流保全工 L=134.0m</td> </tr> <tr> <td>再評価時 (平成21年度)</td> <td>砂防えん堤 N=4基 渓流保全工 L=457.5m</td> </tr> </table> <p>【事業内容の変更状況とその要因】</p> <p>平成11年8月の豪雨により土石流が発生し耕地及び民家に被害が発生したことを受けて平成12年度に南野尻沢2(1)において砂防事業に着手した。南野尻沢2には、他に3つの土石流危険渓流が隣接しており、南野尻沢2(1)同様の被害が想定されるため、平成14年度に南野尻沢2(2)、平成16年度に南野尻沢2(3)、南野尻沢2(4)についても順次着手したものの。</p>				事業着手時 (平成12年度)	砂防えん堤 N=1基 渓流保全工 L=134.0m	再評価時 (平成21年度)	砂防えん堤 N=4基 渓流保全工 L=457.5m																																												
事業着手時 (平成12年度)	砂防えん堤 N=1基 渓流保全工 L=134.0m																																																				
再評価時 (平成21年度)	砂防えん堤 N=4基 渓流保全工 L=457.5m																																																				
事業の概要	事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th></th> <th>内用地費</th> <th>国 [50.00 %]</th> <th>県 [50.00 %]</th> <th>市町村 [- %]</th> <th>その他 [- %]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業着手時 (平成12年度)</td> <td>3.40億円</td> <td>0.17億円</td> <td>1.70億円</td> <td>1.70億円</td> <td>- 億円</td> <td>- 億円</td> </tr> <tr> <td>再評価時 (平成21年度)</td> <td>6.43億円</td> <td>0.33億円</td> <td>3.21億円</td> <td>3.22億円</td> <td>- 億円</td> <td>- 億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費増加度（重点評価実施基準 指標4） =（再評価時事業費－事業着手時事業費）／事業着手時事業費 =（6.43－3.40）／3.40＝89.1%</p> <p>【事業費の変更状況とその要因】</p> <p>◆全体事業計画変更経緯</p> <table border="1"> <tr> <td>・平成12年</td> <td>全体事業費</td> <td>340千円</td> <td>砂防えん堤</td> <td>1基</td> <td>渓流保全工</td> <td>134m</td> </tr> <tr> <td>・平成14年</td> <td>全体事業費</td> <td>470千円</td> <td>砂防えん堤</td> <td>2基</td> <td>渓流保全工</td> <td>264m</td> </tr> <tr> <td>・平成16年</td> <td>全体事業費</td> <td>643千円</td> <td>砂防えん堤</td> <td>4基</td> <td>渓流保全工</td> <td>457m</td> </tr> </table>					全体事業費		費用負担内訳					内用地費	国 [50.00 %]	県 [50.00 %]	市町村 [- %]	その他 [- %]	事業着手時 (平成12年度)	3.40億円	0.17億円	1.70億円	1.70億円	- 億円	- 億円	再評価時 (平成21年度)	6.43億円	0.33億円	3.21億円	3.22億円	- 億円	- 億円	・平成12年	全体事業費	340千円	砂防えん堤	1基	渓流保全工	134m	・平成14年	全体事業費	470千円	砂防えん堤	2基	渓流保全工	264m	・平成16年	全体事業費	643千円	砂防えん堤	4基	渓流保全工	457m
		全体事業費		費用負担内訳																																																	
		内用地費	国 [50.00 %]	県 [50.00 %]	市町村 [- %]	その他 [- %]																																															
事業着手時 (平成12年度)	3.40億円	0.17億円	1.70億円	1.70億円	- 億円	- 億円																																															
再評価時 (平成21年度)	6.43億円	0.33億円	3.21億円	3.22億円	- 億円	- 億円																																															
・平成12年	全体事業費	340千円	砂防えん堤	1基	渓流保全工	134m																																															
・平成14年	全体事業費	470千円	砂防えん堤	2基	渓流保全工	264m																																															
・平成16年	全体事業費	643千円	砂防えん堤	4基	渓流保全工	457m																																															

○事業費増減対照表

	事業着手時 (平成12年度)		再評価時 (平成21年度)		増 減 (H21-H12)		変更の 主な理由
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
本工事費	1式	62.1% 2.11億円	1式	66.1% 4.25億円		70.6% 2.14億円	砂防えん堤1基→4基
砂防えん堤工	1基	1.84億円	4基	3.34億円	3基	1.5億円	溪流保全工 134m→457m
溪流保全工	134m	0.27億円	457m	0.91億円	323m	0.64億円	
測量及び試験費	1式	27.6% 0.94億円	1式	23.2% 1.49億円	-	18.2% 0.55億円	
用地費及び補償費	1式	5.0% 0.17億円	1式	5.1% 0.33億円	-	5.3% 0.16億円	
その他工事費等		5.3% 0.18億円	1式	5.6% 0.36億円	-	5.9% 0.18億円	
合計		100.0% 3.40億円		100.0% 6.43億円	-	100.0% 3.03億円	

事業の進捗状況 規則第24条第1号関係

○事業期間

事業着手 (平成12年度)		再評価時 (平成21年度)	
事業採択予定年度	H12年度	事業採択予定年度	H12年度
用地買収着手予定年度	H13年度	用地買収着手年度	H13年度
工事着手予定年度	H13年度	工事着手年度	H13年度
		計画変更実施年度	H14年度 H16年度
完成予定年度	H15年度	完成予定年度	H23年度

・計画変更は砂防法施行規

則に基づく全体計画の変更を示す。

- ・平成14年の計画変更時に完成予定年度を平成16年度に変更
- ・再評価時の完成予定年度は、平成16年の計画変更時に完成予定年度を時点修正したもの。

※事業停滞年数(重点評価実施基準指標1) = 0年

※事業工期延伸度(重点評価実施基準指標3)

$$= (\text{変更後予定事業期間}) / (\text{当初予定事業期間}) = 12 / 4 = 3.0$$

○進捗率

平成21年度までの		※() : 前回評価時	
事業費	進捗率	内用地費	進捗率
(-) 5.89億円	(-) 91.60%	(-) 0.33億円	(-) 100.00%

※事業工程乖離度(重点評価基準指標2)

$$= (\text{累加投資事業費} / \text{現全体事業費}) - (\text{累加年単純割額} / \text{現全体事業費})$$

$$= (5.89 / 6.43) - (5.36 / 6.43)$$

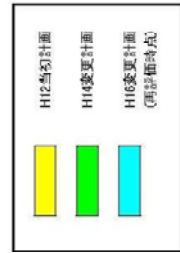
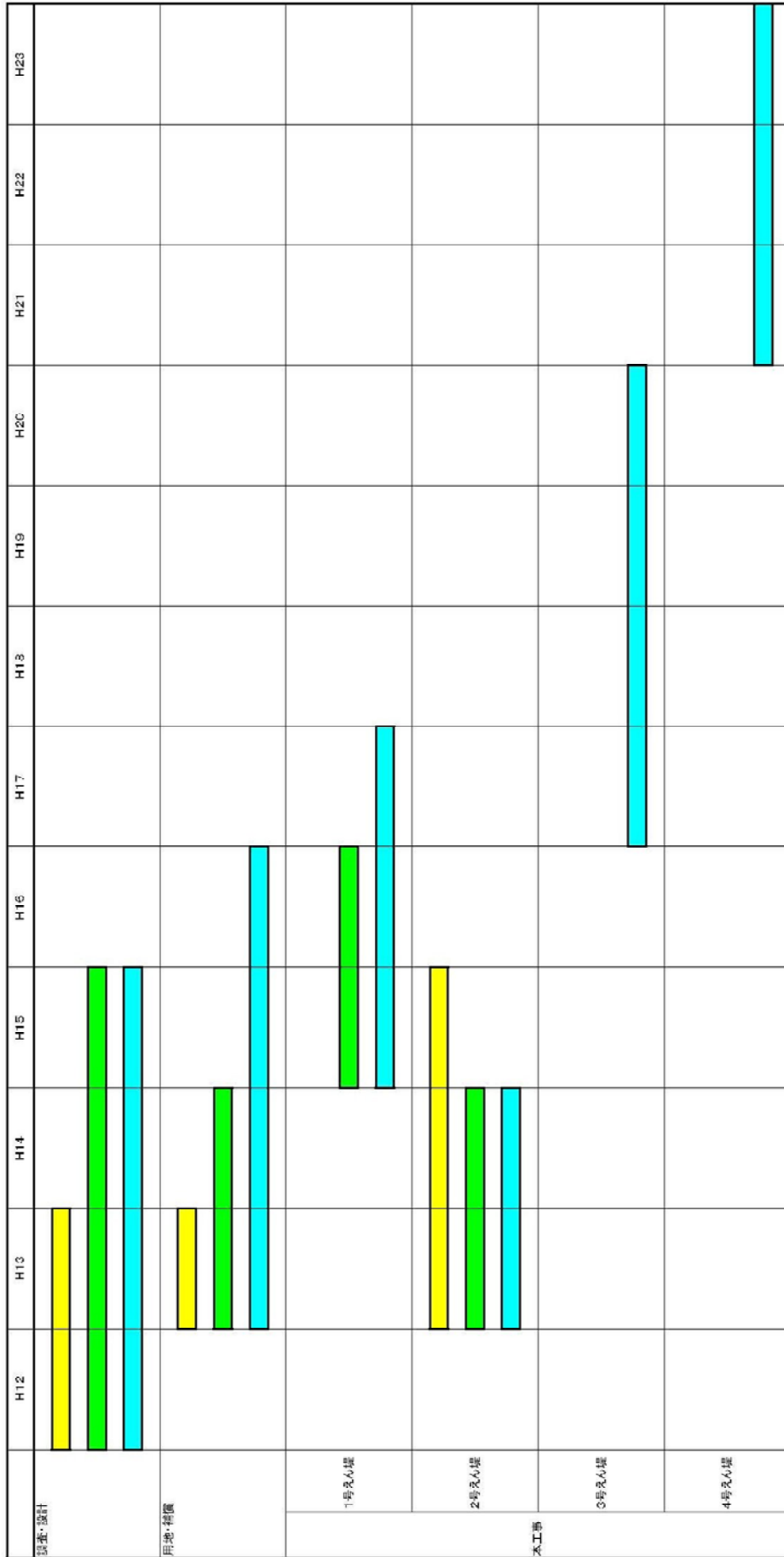
$$= 8.3\%$$

事業の概要	<p>【事業の進捗状況（順調でない場合にはその要因）】</p> <p>当該箇所においては、全4えん堤を築造するものであるが、平成21年度当初現在、4えん堤のうち3えん堤が完成、また、溪流保全工457mのうち291mが完成しており、81.29%の進捗率である。</p> <p>※ 平成20年度までの予算により、3号えん堤が完成見込み（H20繰越工事で施工中：H21.7.31完成予定）</p>	
	<p>【今後の進捗の見込み（事業スケジュール表後掲）】</p> <p>平成21年度においては、4えん堤目の築造に着手するとともに、残りの流路工の整備を行う。</p>	
概要	<p>施設管理の予定・管理状況</p> <p>砂防施設の管理者は宮城県であり、えん堤や溪流保全工の築造とともに管理用道路を整備し、定期的に構造物の点検や堆積土砂撤去等の維持管理業務を行い、構造物の機能保全を図る。</p>	
	<p>上位計画等</p> <p>土木行政推進計画(平成20年5月 宮城県土木部策定)において事業実施箇所として位置付けられている。</p>	
事業の必要性	<p>事業を巡る社会経済情勢等 規則第24条2号関係</p> <p>○社会経済情勢</p> <p>昨今の地球温暖化に伴う異常気象により、全国各地で土砂災害が多発しており、土砂災害対策に対する社会の要請は今後高まっていくと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度発生件数： 814件 ・平成18年度発生件数：1,441件 ・平成19年度発生件数： 966件 <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>当該箇所は平成11年に発生した土石流災害により水田10aに土砂が流出したほか、水路閉塞により集落内において浸水被害が発生した。</p> <p>このため、地元住民は、土石流災害について非常に大きな関心を持っており、4基の砂防えん堤及び溪流保全工の早期完成を強く望んでいる。</p>	

事業の有効性	事業効果	<p>○効果の発現状況</p> <p>平成21年度当初現在、4えん堤のうち3えん堤が完成、また、溪流保全工457mのうち291mが完成しており、当該地区に暮らす住民の身体・生命はもとより、下記の施設が土石流災害から保全されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家18戸 ・道路（県道仙台山寺線390m） ・耕地3.28ha ・人命46人 <p>○想定される事業効果</p> <p>下記にある人家が保全されることにより当該地区のコミュニティが良好に保たれるほか、当該地区における幹線及び生活道路としての機能を果たし、かつ、迂回路のない唯一の避難路の役割を果たしている県道仙台山寺線が保全されることは、住民の生命の保護を図る目的からも非常に重要であり、その効果は高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家23戸 ・道路（県道仙台山寺線410m） ・耕地4.92ha ・人命59人 	
	関連事業の概要・進捗状況等	<p>当該地区においては、砂防事業の実施に併せ、溪流保全工に接続する水路の整備が行われ、既に完了している。</p>	
事業の有効性	代替案との比較検討	規則第24条第3号関係	<p>地域住民は古くから当該地域において生活を営んでおり、集団移転などの代替案などは地域感情を考慮すると困難である。また、道路や学校などの公共施設の移転なども含めると、経済性の観点からも現行案が最適である。</p>
	コスト削減計画	規則第24条第4号関係	
事業の有効性	<p>えん堤の中詰め材として、現地発生土を利用することにより、残土処分費を5百万円程度削減している。</p>		

事業の効 率 性	費用対効果	規則第24条第5号関係			
	根拠マニュアル： 治水経済調査マニュアル（平成20年版） 社会的割引率： 4 % 便益算定期間： 50 年				
		区 分	事業着手時 基準年(H12)	再評価時 基準年(H21)	
	費用 項目	建設費	340百万円	643百万円	
		維持管理費	—	—	
		総費用	340百万円	643百万円	
		現在価値(C)	317百万円	644百万円	
	便益 項目	直接被害軽減効果	514百万円	935百万円	
		総便益	514百万円	935百万円	
		現在価値(B)	352百万円	877百万円	
費用便益比(B/C)		1.11	1.36		
【便益の概要、主な算出根拠等】	<p>◆主な便益・・・人家、農作物資産、道路、人命保護の被害軽減効果</p> <p>※人命被害単価は、31,000千円/人で算出しているが、「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針（共通編）：平成20年6月国土交通省」では226,000千円/人の記載があり、それを反映させた場合、B/Cはより高くなる。</p>				
【事業着手時（前回再評価時）との違いの要因】	<p>平成11年8月の豪雨により土石流が発生し耕地及び民家に被害が発生したことを受けて平成12年度に南野尻沢2(1)において砂防事業に着手した。南野尻沢2には、他に3つの土石流危険溪流が隣接しており、南野尻沢2(1)同様の被害が想定されるため、平成14年度に南野尻沢2(2)、平成16年度に南野尻沢2(3)、南野尻沢2(4)についても順次着手したことにより費用及び便益が増加したものの。</p>				
環境への影響と対策	地域指定状況等	県立自然公園第3種特別地域			
	影響と対策	県立自然公園第三種特別地域内及び希少な動植物が生息する地域内での工事であり、希少植物の保存や、クマタカ等の活動や営巣等に影響を与えないよう配慮している。具体的には、事業地内の希少植物については、事業地外へ移植し、木本は5年間、草本は3年間、生育状況等の経過を観察している。また、事業地周辺に生息するクマタカ、サシバ等の希少な鳥類については、事業期間内において定期的に活動状況を観察し、工事が与える影響の有無を調査している。さらに、切土及び盛土法面の植生復元を図っている。			
総合評価	対応方針（案）	事業継続			

事業スケジュール表



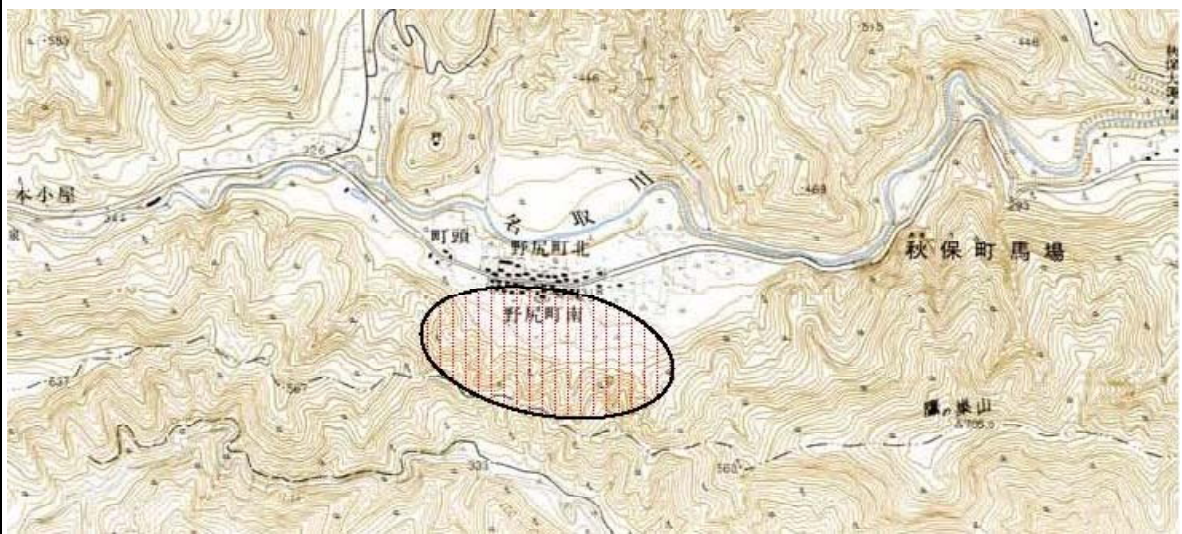
凡例

位置図 (1/50,000)



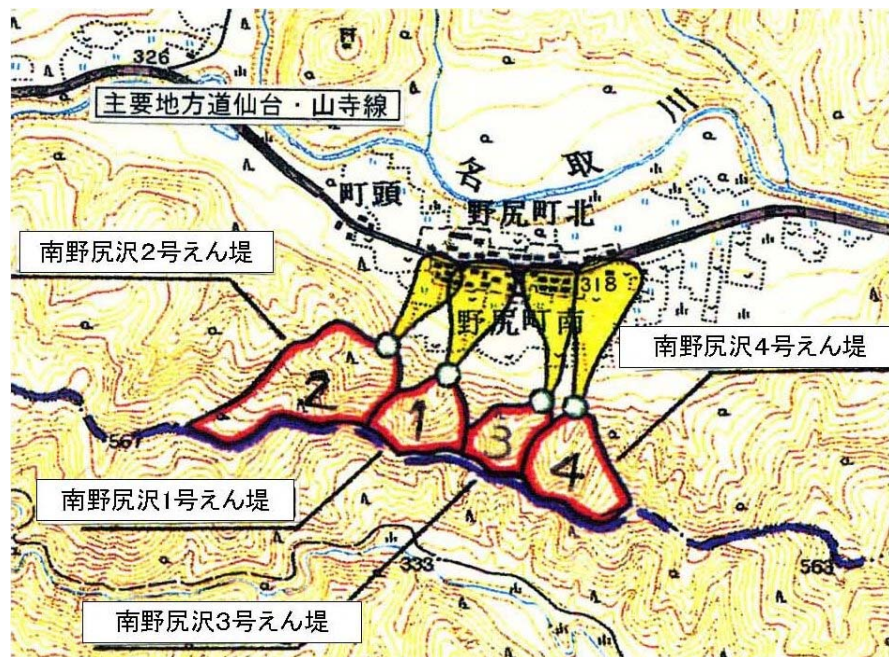
位

位置図 (1/25,000)



置

位置図 (概要説明図)



図

(参考資料1)

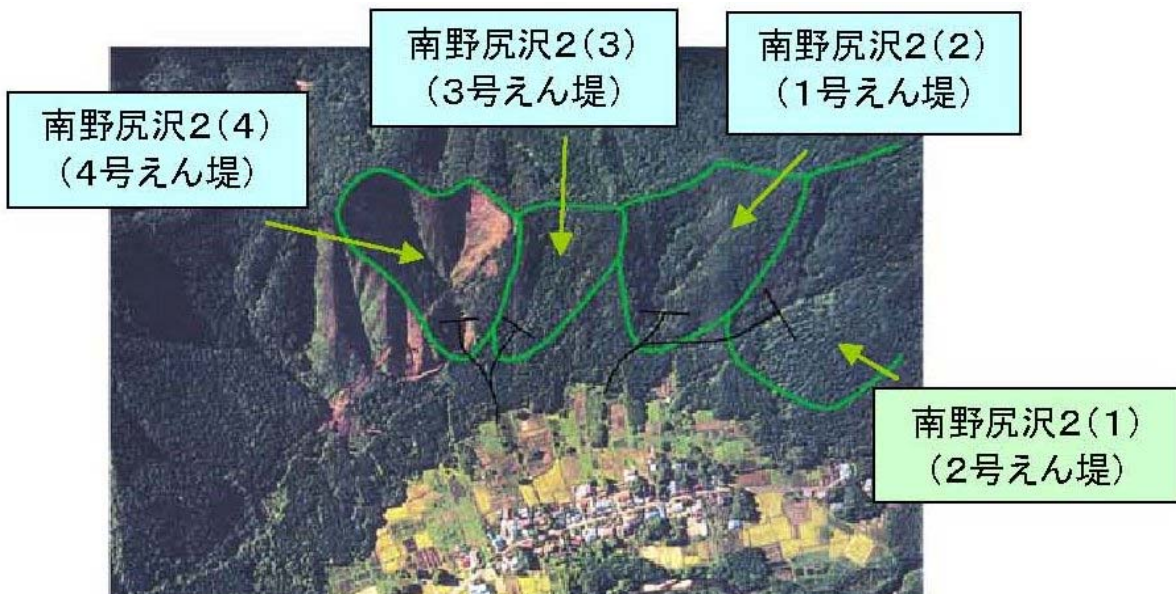
事業概要図

事業名	みなみのじりきわ 南野尻沢2通常砂防事業	施工地名	せんだいしたいはくくあきうまちばば 仙台市太白区秋保町馬場地内
-----	-------------------------	------	------------------------------------

全体計画平面図



航空写真

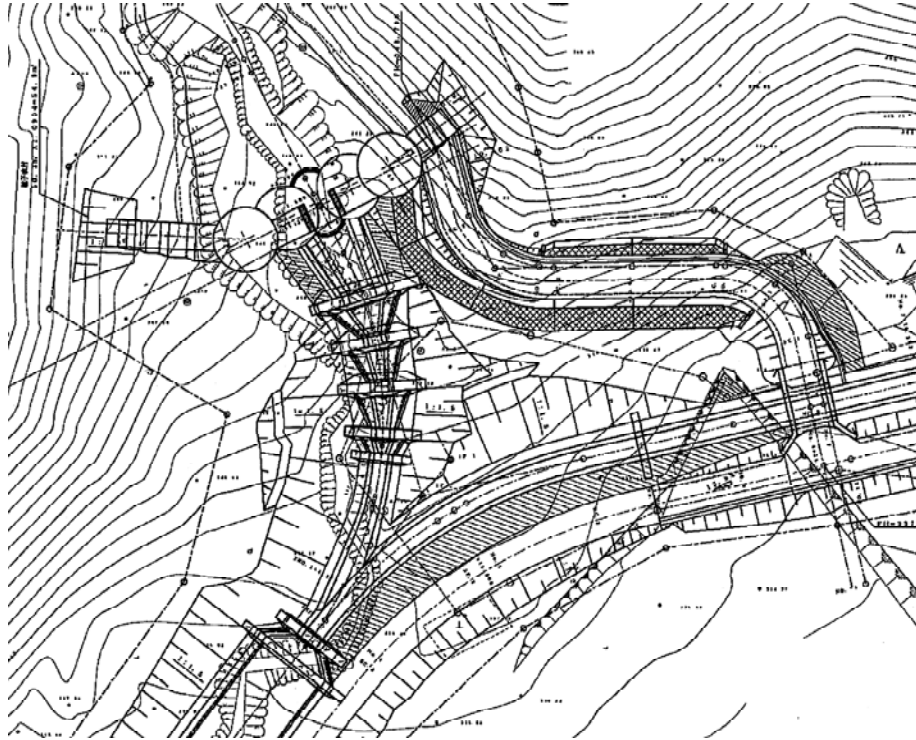


(参考資料 1)

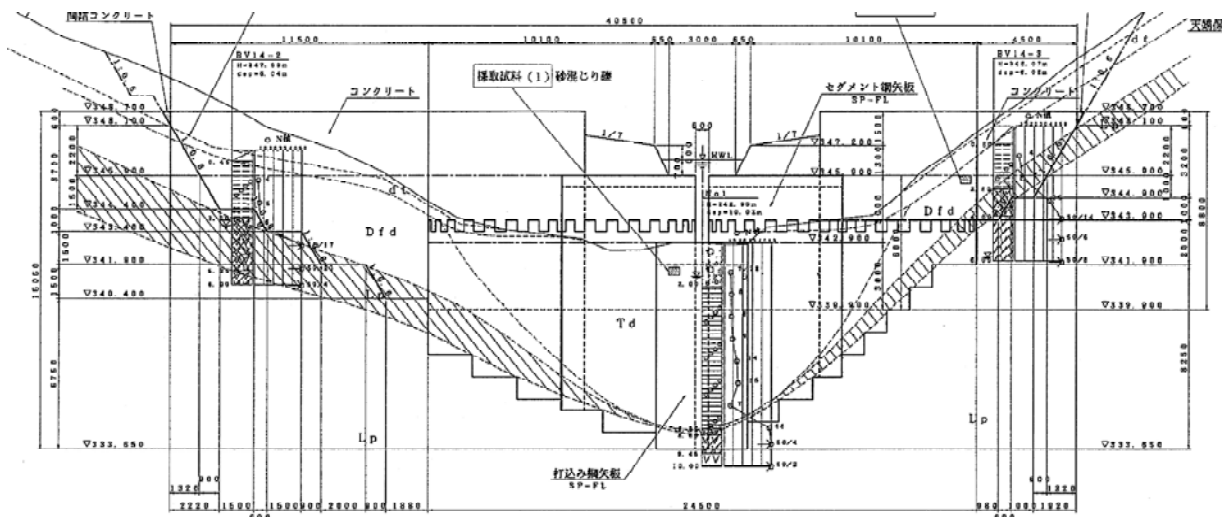
事業概要図

事業名	みなみのじりさわ 南野尻沢 2 通常砂防事業	施工地名	せんだいしたいはくくあきうまちばば 仙台市太白区秋保町馬場地内
-----	---------------------------	------	------------------------------------

1 号えん堤平面図



1 号えん堤構造図

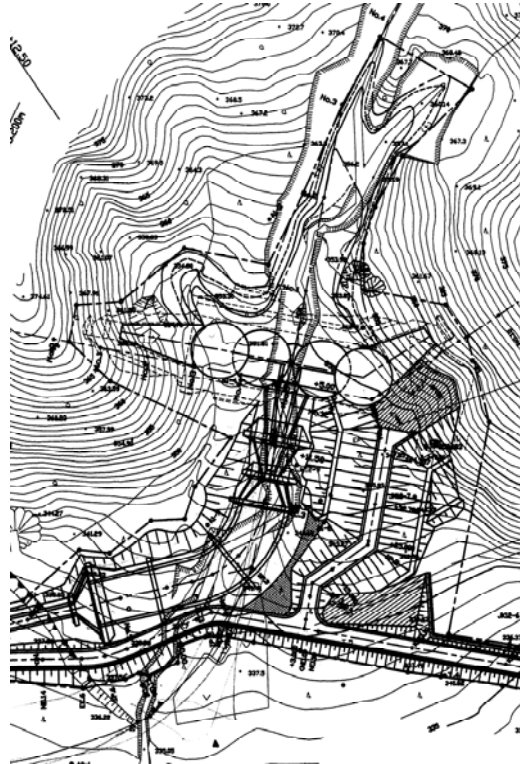


(参考資料1)

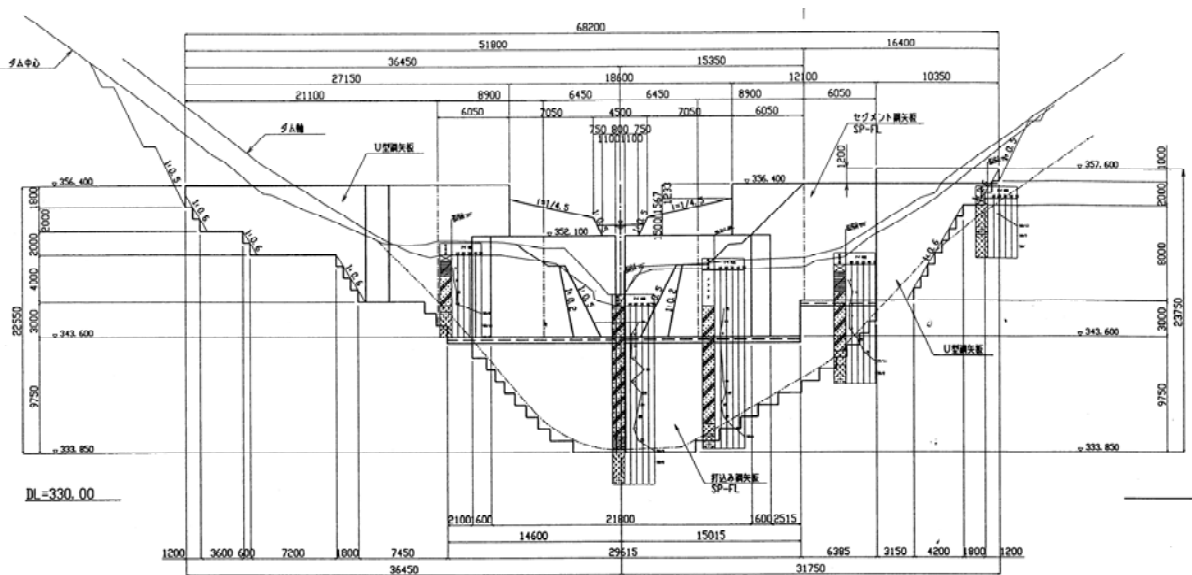
事業概要図

事業名	みなみのじりさわ 南野尻沢2通常砂防事業	施工地名	せんだいしたいはくくあきうまちばば 仙台市太白区秋保町馬場地内
-----	-------------------------	------	------------------------------------

2号えん堤平面図



2号えん堤構造図

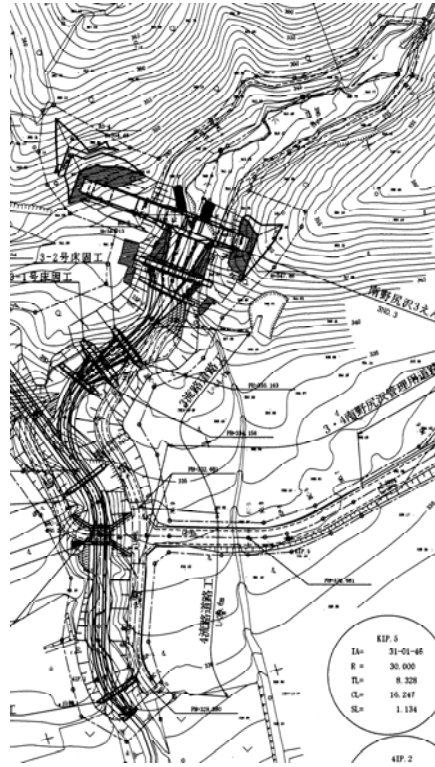


(参考資料 1)

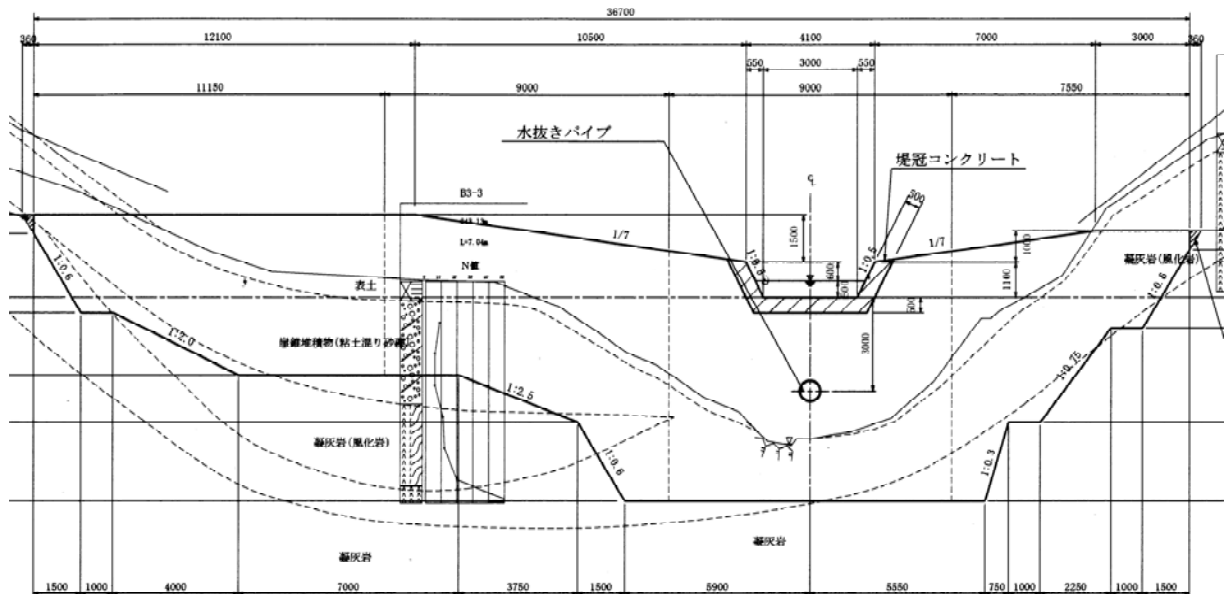
事業概要図

事業名	みなみのじりさわ 南野尻沢 2 通常砂防事業	施工地名	せんだいしたいはくくあきうまちばば 仙台市太白区秋保町馬場地内
-----	---------------------------	------	------------------------------------

3号えん堤平面図



3号えん堤構造図

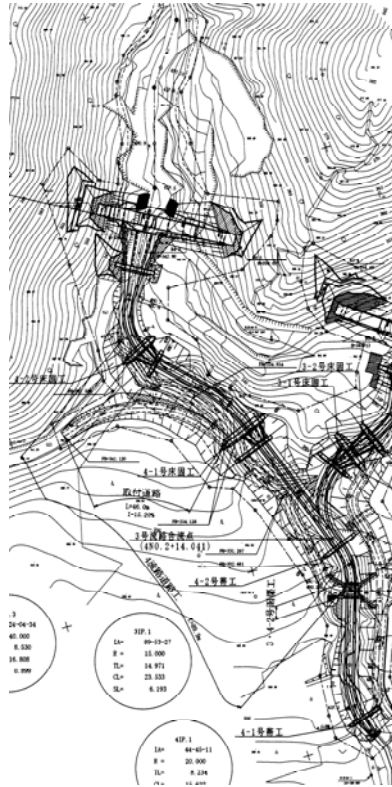


(参考資料 1)

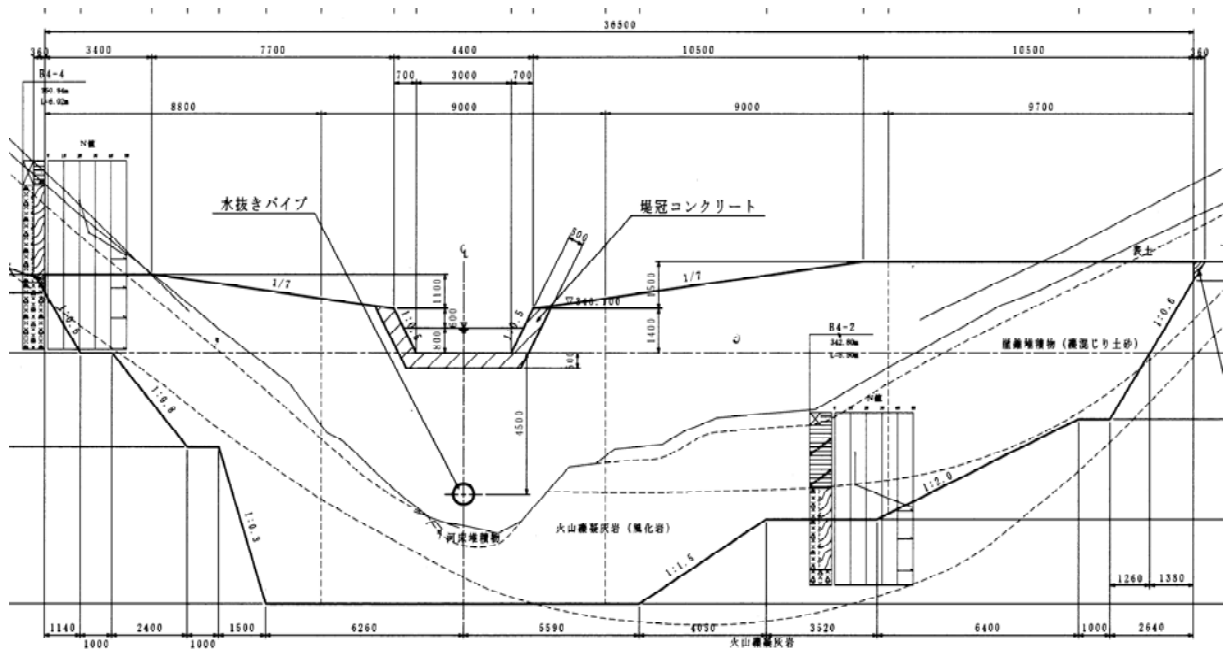
事業概要図

事業名	みなみのじりさわ 南野尻沢 2 通常砂防事業	施工地名	せんだいしたいはくくあきうまちばば 仙台市太白区秋保町馬場地内
-----	---------------------------	------	------------------------------------

4 号えん堤平面図



4 号えん堤構造図



(参考資料 2)

事業執行状況等

事業名	みなみのじりさわ 南野尻沢 2 通常砂防事業	施工地名	せんだいしたいはくくあきうまちばば 仙台市太白区秋保町馬場地内
1 号えん堤 (完成状況) 			
2 号えん堤 (完成状況) 			

(参考資料 2)

事業執行状況等

事業名	みなみのじりさわ 南野尻沢 2 通常砂防事業	施工地名	せんだいしたいはくくあきうまちばば 仙台市太白区秋保町馬場地内
3 号えん堤 (施工状況)			
			
4 号えん堤 (未着工)			
			

土石流対策事業費用対効果の計算（事業再評価用）

都道府県名	宮城県	便益総和:	B =	877	(百万円)
箇所名	南野尻沢 2	費用:	C =	644	(百万円)
		B/C =		1.36	

土砂整備率 (%)	100
-----------	-----

1) 年平均便益算出表

降雨確率	年平均発生確率	被害額	区間平均発生確率	区間平均被害額 (百万円)	年平均被害額 (百万円)
1/10年	0.100	152			
1/20年	0.050	240	0.05	196	9.79
1/100年	0.010	935	0.04	588	23.50
年平均便益					33.29

2) 便益および費用の総和算出結果

事業投資年数 12

3

経過年数	割引率 = 4%		年便益 (b)
	年次事業投資費用 (百万円)	年費用 (c)	
平成1年度	-20	0.000	0.000
平成2年度	-19	0.000	0.000
平成3年度	-18	0.000	0.000
平成4年度	-17	0.000	0.000
平成5年度	-16	0.000	0.000
平成6年度	-15	0.000	0.000
平成7年度	-14	0.000	0.000
平成8年度	-13	0.000	0.000
平成9年度	-12	0.000	0.000
平成10年度	-11	0.000	0.000
平成11年度	-10	0.000	0.000
平成12年度	-9	36	35.208
平成13年度	-8	129	129.264
平成14年度	-7	150	152.813
平成15年度	-6	26	26.432
平成16年度	-5	58	58.903
平成17年度	-4	5	5.041
平成18年度	-3	50	50.000
平成19年度	-2	31	31.000
平成20年度	-1	38	38.000
事業継続	1	66	66.000
	2	30	28.846
事業完成	3	24	22.189
	4		0.000
	5		0.000
	6		0.000
	7		0.000
	8		0.000
	9		0.000
	10		0.000
	11		22.493
	12		21.628
	13		20.796
	14		19.996
	15		19.227
	16		18.487
	17		17.776
	18		17.093
	19		16.435
	20		15.803
	21		15.195
	22		14.611
	23		14.049
	24		13.509
	25		12.989
	26		12.489
	27		12.009
	28		11.547
	29		11.103
	30		10.676
	31		10.265
	32		9.871
	33		9.491
	34		9.126
	35		8.775
	36		8.437
	37		8.113
	38		7.801
	39		7.501
	40		7.212
	41		6.935
	42		6.668
	43		6.412
	44		6.165
	45		5.928
	46		5.700
	47		5.481
	48		5.270
	49		5.067
	50		4.872
	51		4.685
	52		4.505
評価対象終了	53		4.332
	54		4.165
	55		4.005
	56		3.851
	57		3.703
	58		3.560
	59		3.423
	60		3.292
		643	643.697
			876.699

注1) 年次事業投資費用欄の最終年に0は記入しないこととする。

(参考資料4)費用対効果分析算定結果

土石流対策事業費用対効果の計算

総括表

都道府県名	宮城県	効果費： B=	(百万円)
箇所名	南野尻沢 2	事業費： C=	(百万円)
		B/C =	

運搬可能土砂量

降雨確率	礫の密度 t/m ³	水の密度 t/m ³	堆積土砂の 内部摩擦角 °	溪床勾配 °	容積土砂濃度	流域面積 km ²	流出補正率	降雨量 (mm/24h)	空隙率	運搬可能 土砂量 m ³
1/10年	2.600	1.200	35.000	4.000	0.300	0.167	0.436	190.000	0.400	9,874
1/20年	2.600	1.200	35.000	4.000	0.300	0.167	0.436	300.000	0.400	15,591
1/100年	2.600	1.200	35.000	4.000	0.300	0.167	0.436	450.000	0.400	23,386

事業効果 (B)

単位：百万円

		人家	事業所	耕地	道路	鉄道	橋梁	公共土木施設	人的被害	被害額合計
1/10年	谷底平野部	136	0	2	14	0	0	0	-	152
	扇状地部	0	0	0	0	0	0	0	-	0
	合計									152
1/20年	谷底平野部	214	0	4	22	0	0	0	-	240
	扇状地部	0	0	0	0	0	0	0	-	0
	合計									240
1/100年	谷底平野部	322	0	6	32	0	0	0	576	935
	扇状地部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計									935

土石流対策事業対象区域（谷底平野部）の直接被害軽減効果

都道府県名	宮城県	(1/100)効果費 B=	935	(百万円)
箇所名	南野尻沢2			

事業効果 (B)

単位：百万円

直接被害軽減効果 (1/100)	人家	事業所償却	事業所在庫	農作物	道路	鉄道	橋梁	公益施設	人的被害	合計
	322	0	0	6	32	0	0	0	576	935

1) 人家

	直接被害軽減効果 (1/100)							
	対象世帯数 (戸)	平均床面積 (m ²)	評価額 c (千円/単位)	堆積深50cm未満の 対象資産 a*b*c* d (千円)	堆積深50cm以上の 対象資産 a*b*c* e (千円)	堆積深50cm未満の 被害率 f	堆積深50cm以上の 被害率 g	被害額(千円) d*f+e*g
家屋	23	144.7		0	0	0.430	0.785	0
家庭用品	23	—	14,759	16,973	322,484	0.500	0.845	280,986
償却資産	23	—	1,949	2,241	42,586	0.370	0.725	31,704
在庫資産	23	—	463	532	10,117	0.580	0.845	8,857
被害額合計	—	—	—	—	—	—	—	321,547

2) 事業所償却資産

産業大分類	事業所従業員数		直接被害軽減効果 (1/100)				事業所償却額 j×1+k×m (千円)
	1人当たり 償却資産h (千円/人)	従業員数 I (人)	堆積深50cm未満 対象資産額 h*I* j (千円)	堆積深50cm以上 対象資産額 h*I* k (千円)	堆積深50cm未満 の被害率1 r	堆積深50cm以上 の被害率m s	
鉱業	8,919		0	0	0.540	0.815	0
建設業	1,551		0	0	0.540	0.815	0
製造業	3,639		0	0	0.540	0.815	0
電気・ガス・熱供給・水道業	129,208		0	0	0.540	0.815	0
情報通信業	6,918		0	0	0.540	0.815	0
運輸業	6,021		0	0	0.540	0.815	0
卸売・小売業	2,017		0	0	0.540	0.815	0
金融・保険業	6,724		0	0	0.540	0.815	0
不動産業	17,546		0	0	0.540	0.815	0
飲食店・宿泊業	3,007		0	0	0.540	0.815	0
医療、福祉	1,513		0	0	0.540	0.815	0
教育、学習支援業	887		0	0	0.540	0.815	0
複合サービス業	6,724		0	0	0.540	0.815	0
サービス業	6,724		0	0	0.540	0.815	0
公務	6,724		0	0	0.540	0.815	0
被害額合計	—	—	—	—	—	—	0
事業所被害額 (被害額合計)							0

3) 事業所在庫試算

産業大分類	事業所従業員数		直接被害軽減効果 (1/100)				事業所償却額 p×r+q×s (千円)
	1人当たり 在庫資産n (千円/人)	従業員数 o (人)	堆積深50cm未満 対象資産額 n*o* p (千円)	堆積深50cm以上 対象資産額 n*o* q (千円)	堆積深50cm未満 の被害率r	堆積深50cm以上 の被害率s	
鉱業	2,633	0	0	0	0.480	0.78	0
建設業	3,650	0	0	0	0.480	0.78	0
製造業	4,685	0	0	0	0.480	0.78	0
電気・ガス・熱供給・水道業	3,414	0	0	0	0.480	0.78	0
情報通信業	968	0	0	0	0.480	0.78	0
運輸業	774	0	0	0	0.480	0.78	0
卸売・小売業	3,715	0	0	0	0.480	0.78	0
金融・保険業	358	0	0	0	0.480	0.78	0
不動産業	11,563	0	0	0	0.480	0.78	0
飲食店・宿泊業	107	0	0	0	0.480	0.78	0
医療、福祉	172	0	0	0	0.480	0.78	0
教育、学習支援業	121	0	0	0	0.480	0.78	0
複合サービス業	358	0	0	0	0.480	0.78	0
サービス業	358	0	0	0	0.480	0.78	0
公務	358	0	0	0	0.480	0.78	0
被害額合計	—	—	—	—	—	—	0
事業所被害額 (被害額合計)							0

4) 農作物資産

	直接被害軽減効果 (1/100)									
	耕地面積 t	年平均収量	作物価格 v	堆積深50cm未満対象資産額	堆積深50cm以上100cm未満対象資産額	堆積深100cm以上対象資産額	堆積深50cm未満の被害率	堆積深50cm以上の被害率	堆積深100cm以上の被害率	農作物被害額
	(a アール)	(トン/a)	(千円/トン)	w (千円)	x (千円)	y (千円/トン)	被害率 aa	被害率 ab	被害率	(w×z+x×aa+y×bb) (千円)
米	492	0.053	223	290.7474	290.7474	5233.4532	0.7	1	1	5727.7238
麦			147	0	0	0	0.68	0.81	1	0
大豆			245	0	0	0	0.68	0.81	1	0
小豆			262	0	0	0	0.68	0.81	1	0
落花生			487	0	0	0	0.68	0.81	1	0
甘藷			138	0	0	0	0.68	0.81	1	0
馬鈴薯			82	0	0	0	0.68	0.81	1	0
キュウリ			237	0	0	0	0.68	0.81	1	0
ナス			280	0	0	0	0.68	0.81	1	0
トマト			251	0	0	0	0.68	0.81	1	0
カボチャ			139	0	0	0	0.68	0.81	1	0
スイカ			151	0	0	0	0.68	0.81	1	0
イチゴ			850	0	0	0	0.68	0.81	1	0
ピーマン			338	0	0	0	0.68	0.81	1	0
メロン			475	0	0	0	0.68	0.81	1	0
白菜			45	0	0	0	0.68	0.81	1	0
キャベツ			70	0	0	0	0.68	0.81	1	0
レタス			119	0	0	0	0.68	0.81	1	0
ほうれん草			332	0	0	0	0.68	0.81	1	0
ネギ			341	0	0	0	0.68	0.81	1	0
タマネギ			80	0	0	0	0.68	0.81	1	0
さやえんどう			846	0	0	0	0.68	0.81	1	0
さやいんげん			641	0	0	0	0.68	0.81	1	0
大根			59	0	0	0	0.68	0.81	1	0
人参			127	0	0	0	0.68	0.81	1	0
ごぼう			191	0	0	0	0.68	0.81	1	0
里芋			232	0	0	0	0.68	0.81	1	0
りんご			220	0	0	0	0.68	0.81	1	0
みかん			214	0	0	0	0.68	0.81	1	0
夏みかん			129	0	0	0	0.68	0.81	1	0
なし			323	0	0	0	0.68	0.81	1	0
かき			216	0	0	0	0.68	0.81	1	0
ぶどう			611	0	0	0	0.68	0.81	1	0
もも			395	0	0	0	0.68	0.81	1	0
茶			756	0	0	0	0.68	0.81	1	0
てんさい			16	0	0	0	0.68	0.81	1	0
こんにゃく			130	0	0	0	0.68	0.81	1	0
葉たばこ			1,942	0	0	0	0.68	0.81	1	0
蘭草			776	0	0	0	0.68	0.81	1	0
菊			83	0	0	0	0.68	0.81	1	0
バラ			90	0	0	0	0.68	0.81	1	0
カーネーション			40	0	0	0	0.68	0.81	1	0
繭			1,889	0	0	0	0.68	0.81	1	0
農作物被害額合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,728

(参考資料4)費用対効果分析算定結果

人の被害算出表

死者数 1	年齢	人口	人口比 2	年齢別死者数 3=1×2	生産原単位 4	人の被害額 3×4	(千円)
18	67~	142,092	0.13928	2,507.11	2,290.5	5,742	
	66	9,210	0.00903	0.16250	4,476.8	728	
	65	10,493	0.01029	0.18514	6,568.1	1,216	
	64	11,023	0.01081	0.19449	8,572.3	1,667	
	63	11,785	0.01155	0.20794	10,496.3	2,183	
	62	12,208	0.01197	0.21540	14,751.3	3,177	
	61	12,317	0.01207	0.21732	14,127.8	3,070	
	60	10,391	0.01019	0.18334	15,845.7	2,905	
	59	9,333	0.00915	0.16467	23,181.3	3,817	
	58	14,831	0.01454	0.26168	25,304.7	6,622	
	57	16,630	0.01630	0.29342	29,464.1	8,645	
	56	16,749	0.01642	0.29552	31,607.8	9,341	
	55	16,038	0.01572	0.28298	33,686.6	9,533	
	54	15,102	0.01480	0.26646	36,651.5	9,766	
	53	14,466	0.01418	0.25524	38,663.5	9,869	
	52	13,596	0.01333	0.23989	40,619.6	9,744	
	51	12,694	0.01244	0.22398	42,522.9	9,524	
	50	13,287	0.01302	0.23444	44,376.0	10,404	
	49	12,863	0.01261	0.22696	46,365.3	10,523	
	48	12,415	0.01217	0.21905	48,132.8	10,544	
	47	12,560	0.01231	0.22161	49,857.2	11,049	
	46	12,814	0.01256	0.22609	51,540.5	11,653	
	45	12,702	0.01245	0.22412	53,184.7	11,920	
	44	12,856	0.01260	0.22684	54,140.5	12,281	
	43	12,793	0.01254	0.22572	59,186.0	13,360	
	42	13,014	0.01276	0.22962	57,211.7	13,137	
	41	13,690	0.01342	0.24155	58,698.1	14,179	
	40	14,313	0.01403	0.25254	60,119.8	15,183	
	39	12,083	0.01184	0.21320	57,383.4	12,234	
	38	15,383	0.01508	0.27142	58,685.4	15,929	
	37	15,337	0.01503	0.27061	59,961.9	16,226	
	36	15,579	0.01527	0.27488	61,213.8	16,826	
	35	16,295	0.01597	0.28751	62,442.1	17,953	
	34	16,879	0.01655	0.29782	55,298.2	16,469	
	33	17,352	0.01701	0.30616	56,326.6	17,245	
	32	18,056	0.01770	0.31859	57,336.6	18,267	
	31	17,913	0.01756	0.31606	54,162.5	17,119	
	30	17,271	0.01693	0.30473	55,068.0	16,781	
	29	16,801	0.01647	0.29644	43,854.5	13,000	
	28	16,303	0.01598	0.28765	44,540.5	12,812	
	27	15,929	0.01561	0.28106	45,215.3	12,708	
	26	15,602	0.01529	0.27529	45,879.1	12,630	
	25	15,539	0.01523	0.27417	46,532.5	12,758	
	24	15,541	0.01523	0.27421	31,771.3	8,712	
	23	15,816	0.01550	0.27906	32,197.8	8,985	
	22	16,216	0.01590	0.28612	32,617.8	9,333	
	21	17,055	0.01672	0.30092	33,031.5	9,940	
	20	17,812	0.01746	0.31428	33,439.2	10,509	
	19	18,388	0.01802	0.32444	18,458.7	5,989	
	18	14,478	0.01419	0.25545	18,674.7	4,771	
	~17	170,267	0.16690	3,004.24	18,887.6	56,743	(千円)
合計		1,020,160	1			575,719	

*年齢別人口は国勢調査による